



<情報科学研究科>

参加を希望する学生は、別紙様式に記入の上、1月5日までに情報科学研究科教務係までご提出願います。

宮 総 教 第 2 1 9 号

平成 2 7 年 1 1 月 1 6 日

東北大学総長 殿

宮城県総合教育センター所長
(公印省略)

平成 2 7 年度長期研修員研究発表会について (依頼)

本県の教育行政につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび別紙要項のとおり、平成 2 7 年度長期研修員研究発表会を開催することになりました。

つきましては、教職課程履修学生へお知らせ願います。

なお、参加申込みにつきましては、別紙様式により平成 2 8 年 1 月 2 2 日 (金) まで、F A X にて申込むように、あわせて教職課程履修学生へお知らせ願います。

担 当 : 研究開発班 次長 高橋 智男
T E L : 022-784-3549 (研究開発班直通)
F A X : 022-784-3571
E-mail : research-d@edu-c.pref.miyagi.jp

平成27年度 長期研修員研究発表会実施要項

- 1 目的 宮城県総合教育センターの今年度の長期研修員の研究と、前年度の長期研修員の課題解決について発表し、参加者の指導助言を得て今後の研究に生かす。
- 2 主催 宮城県教育委員会
- 3 対象 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員（国立学校，私立学校も含む。）
県内，県外教育機関職員，教職を目指す学生等 400名
- 4 期日 平成28年 2月17日（水）
- 5 会場 宮城県総合教育センター（開会行事 第1，2研修室）
（分科会 分科会一覧参照）

6 内容・日程

9:30		10:20		12:05		15:35	
10:00		10:30		13:20			
2/17 (水)	受付	開会 行事	移動	7つの分科会で発表 (別紙「分科会一覧」参照) ※ 分科会ごとに開会	昼食・ 休憩	7つの分科会で発表 (別紙「分科会一覧」参照) ※ 分科会ごとに閉会	

- 7 発表者

平成27年度	宮城県総合教育センター	
	専門研究員（1年）	21名
	長期研修員A（6か月）	15名
	長期研修員B（年間25日）	10名
平成26年度	専門研究員（1年）	各グループ代表1名 またはグループ全員
	長期研修員A（6か月）	代表3名
	長期研修特別支援教育A（6か月）	代表1名
	長期研修員B（年間25日）	代表2名

- 8 発表内容 別紙「研究主題等一覧」「分科会一覧」参照

< 専門研究 >

研究領域	研究主題・副題 研究の概要
授業改善・ 学力向上	<p>児童生徒の学力向上を目指す授業改善 ー 児童生徒の学習意欲を引き出し、学習習慣の形成を図る 算数・数学科の指導の在り方 ー</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果から、本県では、授業における目標の示し方や振り返りのさせ方、家庭学習の取り寄せ方に課題が見られる。特に、算数・数学においては、全国平均正答率を下回る傾向が続いている状況である。本研究では、学習意欲を引き出し、学習習慣の形成を図る学習意欲向上サイクルによる授業改善を提言し、算数・数学科における児童生徒の学力向上を目指すものである。</p>
理科教育	<p>児童の科学的な思考力・表現力の育成を目指す理科授業 ー 異なる単元で習得した知識や技能を活用する授業の提案を通して ー</p> <p>全国学力・学習状況調査小学校理科の結果から、本県では、学習した知識や技能を活用することに課題が見られる。理科においては、自然や日常生活で見られる事物・現象から見いだした問題を解決するために、複数の知識や技能を関係付けて考える力が求められている。本研究は、異なる単元で習得した知識や技能を関係付けて問題を解決する授業の提案を通して、児童の科学的な思考力・表現力の育成を目指すものである。</p>
教育相談・ 生徒指導	<p>よりよい人間関係を主体的に築く児童生徒の育成 ー 「集団づくり」指導パッケージの開発と活用を通して 「絆づくり」プログラム2 ー</p> <p>本県の喫緊の課題であるいじめ問題や不登校は、人間関係に起因するものが多い。児童生徒が人間関係を築くに当たり、安心できる雰囲気の中で互いのよさや違いを認め合い、多様な他者と関わるのが大切である。本研究では、児童生徒が学級の中で他者とのつながりをつくる活動を継続して行うことで、よりよい人間関係を自らつくり出す「集団づくり」指導パッケージを開発し、その活用を提案するものである。</p>
情報教育	<p>I C T活用指導力の向上を目指す研修の推進 ー タブレット端末活用動画集の作成を通して ー</p> <p>「みやぎの教育情報化推進計画」では、I C T活用指導力は児童生徒の学習の理解を促す上で全ての教員に求められている能力とされている。本研究では、県内各校に対して情報教育に関するアンケート調査及びタブレット端末を活用している学校からの情報収集を実施する。その上で、タブレット端末活用動画集を作成し、研修モデルを提案することで、本県教員のI C T活用指導力の向上を目指すものである。</p>
防災教育	<p>宮城県の防災教材を活用した持続可能な防災教育の推進 ー 「みやぎ防災教育ツールボックス」の開発とその活用の提言を通して ー</p> <p>東日本大震災を機に、県内の学校では児童生徒や地域の実態に応じた防災教育に力を注いできた。今後も発生が懸念される自然災害から子供の命を守るためには、教職員が高い防災意識を保ち、効果的な防災教育を長期的に推進していく必要がある。本研究は、これまで宮城県教育委員会が作成した防災教材をデータベース化し、併せてその活用法を提示することで、防災教育を担う教員の支援を目指すものである。</p>
特別支援教育	<p>高等学校における発達障害等のある生徒への支援の推進 ー 「みやぎサポートシート」を活用したチーム支援の提案を通して ー</p> <p>文部科学省によると、高等学校に在籍している発達障害等のある生徒への支援の推進が喫緊の課題となっている。本研究では、高等学校における発達障害等のある生徒とその支援の現状について調査し、課題を明らかにする。その上で、生徒の困り感に対する教師の気付きを支援につなげるツール「みやぎサポートシート」を活用した校内支援体制の中心となるチーム支援を提案し、高等学校における支援の推進を図るものである。</p>

＜ 長期研修A ＞

研究領域	所属校	研究主題
	氏名	研究副題
中学校 道徳	村田町立 村田第一中学校	震災の教訓を基に自己の在り方・生き方を見詰めようとする力を 高めるための指導の一試み
	鈴木 裕樹	－ 東日本大震災に関連する資料を盛り込んだ学習計画の 作成・実践を通して －
小学校 外国語活動	多賀城市立 多賀城東小学校	外国語活動において、進んで伝え合おうとする態度を育成するための一試み
	砂子田 恵美	－ ポートフォリオ「Tagajo East Kids!」の作成と活用を通して －
小学校 国語	山元町立 山下第二小学校	自分の考えを持ち、意欲的に表現する力を育てる指導の一試み
	針生 武宏	－ 高学年「読むこと」の学習における「思考ツール」 を活用した実践を通して －
小学校 教育相談・ 生徒指導	亘理町立 亘理小学校	不登校傾向のある高学年児童に対するチーム支援の一試み
	藤田 久美子	－ 解決志向アプローチを生かしたチーム会議を通して －
中学校 数 学	美里町立 小牛田中学校	数学的な思考力・表現力を育む関数指導の一試み
	高橋 春美	－ 解決の意欲を高めるような問題提示と 「見通し」の持たせ方の工夫を通して －
小学校 図画工作	色麻町立 色麻小学校	〔共通事項〕を基に作者の表現の意図や心情を感じ取る力を 育む鑑賞指導の一試み
	吉岡 英美	－ 感じ取ったことを言語化して相手に伝える 賞文の取組を通して －
小学校 体 育	大崎市立 三本木小学校	児童一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい、できた！ を実感できる学習指導の一試み
	菅原 正樹	－ 上達チェックカードを活用した第6学年マット運動の 実践を通して －
小学校 特別活動	栗原市立 金成小学校	よりよい人間関係を築く自治的な学級集団づくりの一試み
	成瀬 郁恵	－ 統合2年目の最高学年における「チーム・金成タイム」 の実践を通して －
小学校 国 語	東松島市立 矢本東小学校	叙述を基に想像して読む力を育む指導の一試み
	宮澤 尚子	－ 目的意識を持続し、登場人物の性格や気持ちの変化を中心に読み、 感想を伝え合う活動を通して －
小学校 算 数	登米市立 石森小学校	児童の思考力・表現力を育てるための主体的な学び合いを促す指導の一試み
	石川 信亨	－ 第2学年かけ算「どきどきわくわくタイム」を取り入れた 学習指導を通して －
中学校 外国語	気仙沼市立 大島中学校	自分の考えや気持ち、事実を英語で表現する力を高める指導の一試み
	熊谷 丹	－ 生徒にとって身近な題材を取り入れた言語活動における 「表現ノート」の活用を通して －
特別支援教育 知的障害	宮城県立 名取支援学校	自閉症生徒が、伝える意欲を持ち、 自発的に伝えられるようになるための指導の一試み
	黒川 彩子	－ Aさんと教師による絵日記の「ともがき」を通して －
特別支援教育 知的障害	宮城県立 利府支援学校	知的障害生徒が生活で活用できる単語を増やすことを目指した 指導の一試み
	須田 美和	－ Bさんの得意な認知処理様式を生かした 特殊音節指導プログラムの工夫を通して －
高 校 災害科学	宮城県 多賀城高等学校	災害時に安全な行動をとるための思考・判断力を育成する指導の一試み
	菊田 みどり	－ 保健の学習における「リングタイム」と「リングシート」 の活用を通して －
高 校 外国語	宮城県 広瀬高等学校	英文を読む楽しさを実感させ、自ら英文を読む意欲を育てる 「読む」指導の一試み
	高瀬 由紀	－ 発問と表現活動を系統立てて取り入れた年間指導計画の 作成と活用を通して －

平成27年度 長期研修員研究発表会 研究主題等一覧

<長期研修B>

研究領域	所属校	研修主題
	氏名	研修副題
中学校 保健体育	丸森町立 丸森中学校	種目の特性に合った技能向上のコツをつかむ指導の在り方
	国井 美和	— ICTの活用を通じて一連の動きを 視覚的に捉えさせる取組を通して —
小学校 算数	富谷町立 日吉台小学校	自分の考えを持ち、表現する力を育む授業を目指して
	鎌田 陽介	— 図や式、言葉を用いて、課題解決の過程をかく・伝え合う活動を通して —
小学校 防災教育	利府町立 しらかし台小学校	自ら安全な行動をとることができる力を育む防災教育の授業づくり
	佐竹 雅洋	— みやぎ防災教育副読本を基にした自校化教材の作成と活用を通して —
中学校 特別活動	大崎市立 古川中学校	進路選択と将来設計を主体的に考える学級活動を目指して
	伊藤 良	— 志教育の学びを生かした話し合い活動を通して —
小学校 道徳	大崎市立 古川第二小学校	書くことで自分と向き合い、道徳的価値への自覚を深める授業づくり
	中里 ゆり	— 道徳の時間と日々の思いをつなぐ「道徳ふれあいノート」 の活用を通して —
中学校 外国語	栗原市立 高清水中学校	聞き取った情報を基に、生徒が意欲的にコミュニケーション活動に 取り組む授業を目指して
	菅原 時江	— Small Talkingの活用とワークシートの工夫を通して —
中学校 国語	石巻市立 万石浦中学校	目的に応じ、文学的な文章を人物描写に基づいて読む力を培う指導の一試み
	小山 晴美	— 単元を貫く課題解決的な活動における学習過程の工夫を通して —
小学校 社会	登米市立 登米小学校	自分の考えを表現できる授業を目指して
	佐藤 修	— 社会科における児童が進んで活用するノートづくりを通して —
中学校 国語	気仙沼市立 唐桑中学校	明確な根拠を基に自分の考えをまとめる力を育む国語の授業を目指して
	西條 和也	— 意見交流を取り入れた言語活動の工夫を通して —
高校 地理歴史	宮城県 多賀城高等学校	生徒が自ら興味・関心を持って学ぶ授業を目指して
	佐々木 淳一	— 地域の地図や資料を活用した学習を通して —

平成27年度 長期研修員研究発表会 分科会一覧

宮城県総合教育センター

分科会	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会	第6分科会	第7分科会	
会場	第3研修室	第4研修室	第5研修室	第6研修室	第7研修室	第10研修室	第11研修室	
担当班	改善研修班 研究開発班	教職研修班	教育相談班	特別支援教育班	研究開発班	専門教育班	発達支援班 研究開発班	
10:00～10:20	開 会 行 事 (第1・2研修室)							
10:20～10:30	移 動							
10:30～10:40	開 会	開 会	開 会	開 会	開 会	開 会	開 会	
1	10:40 ～ 11:05	長期研修B (小)算数 鎌田 陽介	長期研修A (中)道徳 鈴木 裕樹	長期研修A (小)数習・生指導 藤田 久美子	長期研修A (中)自閉症 黒川 彩子	長期研修A (中)外国語 熊谷 丹	長期研修A (小)図画工作 吉岡 英美	長期研修B (高)地理歴史 佐々木 淳一
	11:05～11:15	移 動 ・ 休 憩						
2	11:15 ～ 11:40	長期研修A (中)数学 高橋 春美	長期研修B (小)防災教育 佐竹 雅洋	長期研修A (小)特別活動 成瀬 郁恵	専門研究 特別支援教育 遠藤 亮一 佐藤 孝敏 太田 賢 早見 和男	専門研究 理科教育 佐久間 裕和 須藤 貴宏 大森 実	専門研究 情報教育 遠藤 啓文 小山 朋大 佐藤 純也	長期研修B (小)社会 佐藤 修
	11:40 ～ 12:05	長期研修A (小)算数 石川 信亨	長期研修A (高)災害科学 菊田 みどり	長期研修B (中)特別活動 伊藤 良				長期研修A (小)国語 針生 武宏
3	11:40 ～ 12:05	長期研修A (小)算数 石川 信亨	長期研修A (高)災害科学 菊田 みどり	長期研修B (中)特別活動 伊藤 良	遠藤 亮一 佐藤 孝敏 太田 賢 早見 和男	佐久間 裕和 須藤 貴宏 大森 実	遠藤 啓文 小山 朋大 佐藤 純也	長期研修A (小)国語 針生 武宏
12:05～13:20	昼 食 ・ 休 憩							
4	13:20 ～ 13:45	専門研究 授業改善・ 学力向上	専門研究 防災教育	専門研究 教育相談・ 生徒指導	長期研修A (中)知的障害 須田 美和	長期研修A (小)外国語活動 砂子田 恵美	長期研修A (小)体育 菅原 正樹	長期研修B (中)国語 小山 晴美
	13:45 ～ 14:10	佐藤 秀克 山口 沙織 伊澤 ゆかり 渡邊 満	小関 康司 西村 浩道 堀越 千詠美 千葉 誠治	下山絵美子 及川 一弘 武井 有里	H26 専門研究 特別支援教育 代表者	長期研修A (高)外国語 高瀬 由紀	長期研修B (中)保健体育 国井 美和	長期研修A (小)国語 宮澤 尚子
5	13:45 ～ 14:10	佐藤 秀克 山口 沙織 伊澤 ゆかり 渡邊 満	小関 康司 西村 浩道 堀越 千詠美 千葉 誠治	下山絵美子 及川 一弘 武井 有里	H26 専門研究 特別支援教育 代表者	長期研修A (高)外国語 高瀬 由紀	長期研修B (中)保健体育 国井 美和	長期研修A (小)国語 宮澤 尚子
14:10～14:25	移 動 ・ 休 憩							
6	14:25 ～ 14:50	H26 長期研修A 代表者	H26 専門研究 防災教育 代表者	長期研修B (小)道徳 中里 ゆり	H26 長期研修A 特別支援教育 代表者	長期研修B (中)外国語 菅原 時江	H26 長期研修A 代表者	長期研修B (中)国語 西條 和也
	14:50 ～ 15:15	H26 専門研究 授業改善・学力向上 代表者	H26 長期研修A 代表者	H26 専門研究 数習・生指導 グループ	H26 長期研修B 代表者	H26 専門研究 理科教育 代表者	H26 専門研究 情報教育 代表者	H26 長期研修B 代表者
7	14:50 ～ 15:15	H26 専門研究 授業改善・学力向上 代表者	H26 長期研修A 代表者	H26 専門研究 数習・生指導 グループ	H26 長期研修B 代表者	H26 専門研究 理科教育 代表者	H26 専門研究 情報教育 代表者	H26 長期研修B 代表者
15:15～15:35	閉 会							

別紙（大学用）

（ファクシミリ施行）

（総合教育センター FAX番号 022-784-3571）

あて先 宮城県総合教育センター所長 殿 (研究開発班 高橋 智男 扱い)	件名 平成27年度 長期研修員研究発表会 について	発信 平成 年 月 日 大学名 学長名
--	------------------------------------	------------------------------

平成27年度 長期研修員研究発表会 参加申込書（大学）

担当課係名

担当者

電話番号

	学部・学科等	参加者氏名	希望分科会	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※ 希望分科会の欄には、主に参加を希望する分科会番号を記入してください。